

1. オッズ比ではなく標準化係数による報告

1.1 ・政党支持

従属変数 = 右翼/極右政党支持								
対象政党	右翼	右翼	右翼	右翼	右翼	極右	極右	極右
分析対象	全有権者	全有権者	支持政党ありのみ	全有権者	全有権者	全有権者	全有権者	支持政党ありのみ
	bStdX	bStdX	bStdX	bStdX	bStdX	bStdX	bStdX	bStdX
<b>属性</b>								
年齢	0.165	0.049	-0.200 <sup>^</sup>	0.211	0.097	-0.184**	-0.201**	-0.426**
性差(女性ダミー)	-0.166**	-0.127**	-0.074	-0.135**	-0.095*	-0.207**	-0.213**	-0.174**
収入(10)	0.168 <sup>^</sup>	0.177 <sup>^</sup>	0.120	0.154 <sup>^</sup>	0.157*	0.030	0.070	0.013
学歴(8)	-0.204**	-0.096**	-0.238**	-0.191**	-0.104**	-0.380**	-0.181**	-0.303**
就労状況(参照=常勤)								
学生	-0.092	-0.021	-0.077			-0.293**	-0.135*	-0.200**
失業・求職中	-0.011	0.005	-0.025			-0.060	-0.049	-0.063
退職・年金受給者	0.025	0.058	0.017			-0.008	0.011	0.017
主婦・主夫	-0.009	0.019	0.034 <sup>^</sup>			0.000	0.035	0.043 <sup>^</sup>
職業(参照=管理職)								
軍・警察				0.022	0.026			
専門職				-0.083*	-0.047 <sup>^</sup>			
技師・准専門職				-0.028	-0.026			
事務補助員				-0.066 <sup>^</sup>	-0.072*			
販売従業者				0.001	-0.010			
農林漁業従事者				0.040*	0.026			
技能工				0.004	-0.013			
機械運転・組立工				-0.015	-0.052 <sup>^</sup>			
単純作業従事者				-0.083*	-0.075 <sup>^</sup>			
都市居住(k/km <sup>2</sup> )	-0.090**	-0.054**	-0.028	-0.076**	-0.039*	-0.101*	-0.017	-0.028
地域失業率(%)	-0.138	-0.233	-0.269	-0.157	-0.258 <sup>^</sup>	-0.137	-0.278	-0.277
<b>態度</b>								
自身の生活状況への不満(11)		0.018	0.001		0.025		-0.027	-0.061**
自国の経済状況への不満(11)		-0.238**	-0.248**		-0.248**		-0.053	-0.012
自国の民主政治への不満(11)		-0.147	-0.036		-0.135		0.197	0.374 <sup>^</sup>
EU統合への反対(11)		0.437**	0.529**		0.442**		0.318**	0.363**
伝統の重視(6)		0.136**	0.103**		0.136**		0.098**	0.088*
規則の重視(6)		0.031	0.036		0.030		0.014	0.015
国家への愛着(11)		0.217**	0.098		0.203**		0.131*	0.011
自由の重視(6)		0.109**	0.085*		0.095**		0.186**	0.166**
移民による経済悪化認識(11)		0.136*	0.264**		0.147*		0.169**	0.257**
移民による文化侵蝕認識(11)		0.466**	0.590**		0.466**		0.630**	0.650**
N	61740	54650	27722	57672	51354	45358	40446	19763
Pseudo R2	0.1133	0.1962	0.3103	0.1160	0.2006	0.0823	0.1923	0.2828

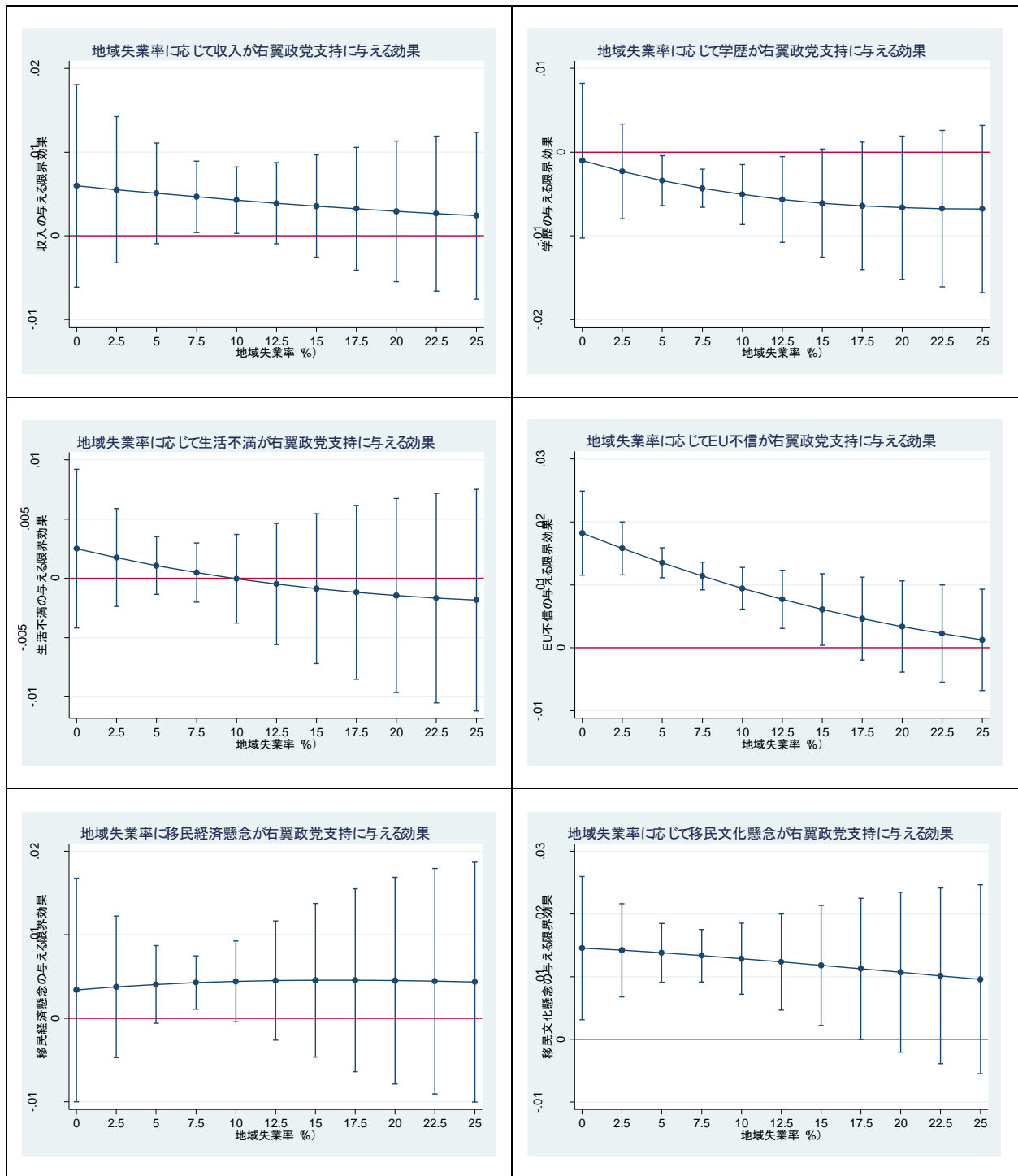
1.2 ・反移民感情

従属変数 = 文化侵蝕懸念				
	bStdX	bStdX	bStdX	bStdX
<b>属性</b>				
年齢	0.055	0.005	0.102**	0.051
性差(女性ダミー)	-0.053*	-0.068*	-0.027	-0.046 <sup>^</sup>
収入(10)	-0.065**	0.003	-0.035*	0.023
学歴(8)	-0.446**	-0.349**	-0.354**	-0.283**
就労状況(参照=常勤)				
学生	-0.167**	-0.087**		
失業・求職中	0.013	-0.003		
退職・年金受給者	0.002	0.029		
主婦・主夫	0.029*	0.024 <sup>^</sup>		
職業(参照=管理職)				
軍・警察			0.006	0.009
専門職			-0.103**	-0.084**
技師・准専門職			-0.054	-0.057 <sup>^</sup>
事務補助員			-0.023	-0.012
販売従業者			0.047	0.031
農林漁業従事者			0.052**	0.045*
技能工			0.073**	0.050**
機械運転・組立工			0.064*	0.037
単純作業従事者			0.045	0.029
都市居住(k/km <sup>2</sup> )	-0.173**	-0.151**	-0.157**	-0.137**
地域失業率(%)	0.125*	0.067	0.113*	0.048
<b>態度</b>				
自身の生活状況への不満(11)		0.048**		0.049**
自国の経済状況への不満(11)		0.122**		0.118**
自国の民主政治への不満(11)		0.333**		0.335**
EU統合への反対(11)		0.556**		0.549**
伝統の重視(6)		0.157**		0.151**
規則の重視(6)		0.117**		0.128**
国家への愛着(11)		0.032		0.039
自由の重視(6)		-0.027 <sup>^</sup>		-0.030*
N	65530	60171	61323	56555
Pseudo R2	0.0851	0.1620	0.0843	0.1602

<sup>^</sup>p<0.10, \*p<0.05, \*\*p<0.01 注: 定数項・国別ダミー変数の効果は報告省略。

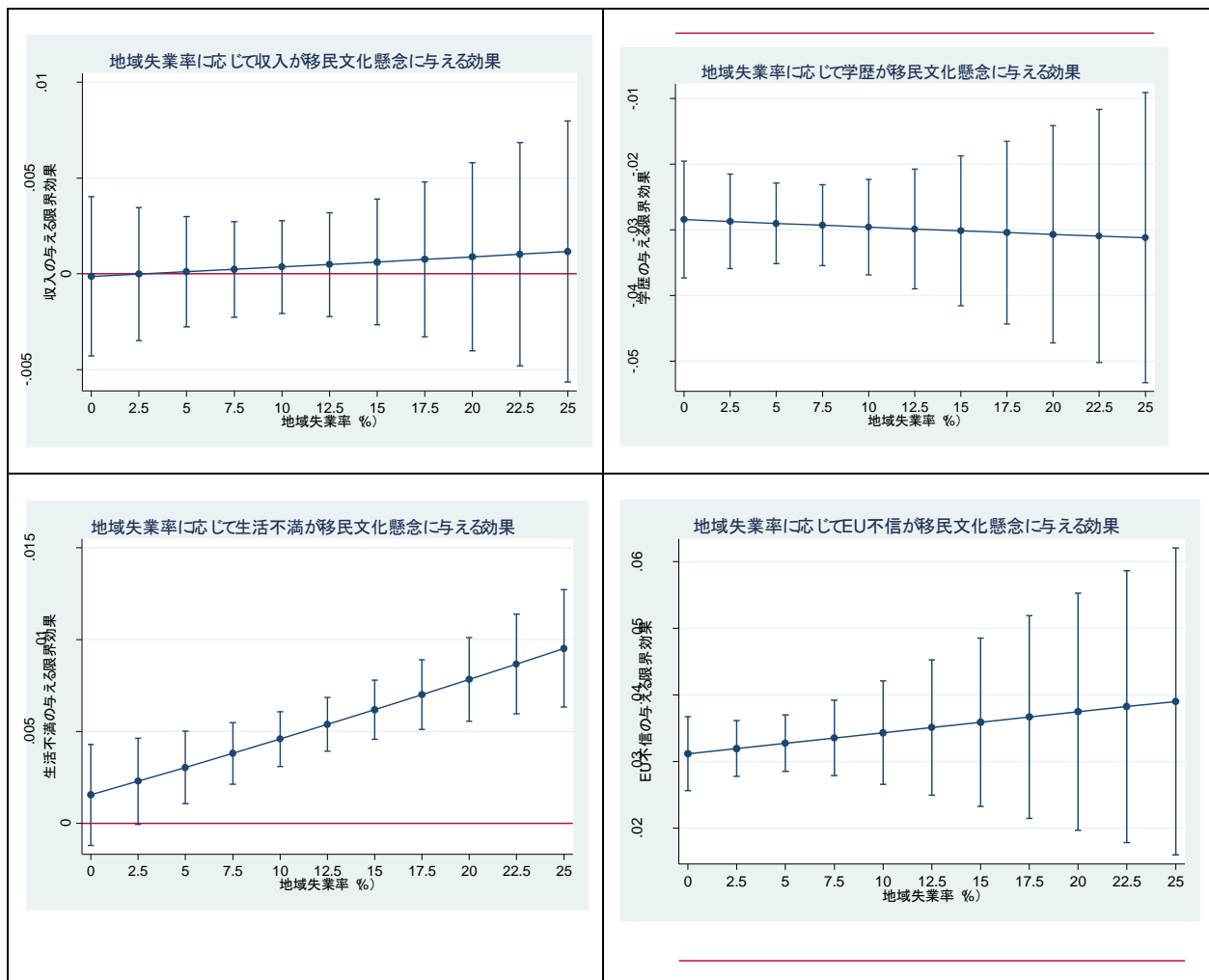
## 2. 地域失業率との交互作用効果

### 2.1 ・右翼政党支持(本書 p72 のモデル 2 をベースとして交互作用項を投入し限界効果を計測)



- ・「居住地域の格差が高い所で、低所得/生活不満層が右翼政党を支持する」といった関係は見いだされません。
- ・移民文化懸念と EU 不信は幅広く正の効果がありますが、極めて失業率の高い所ではその効果が失われます (ただしこれは失業率の極めて高い所では右翼政党支持率自体が極めて低いという事も影響していると思われます)
- ・移民経済懸念が正の効果を持つ地域失業率の幅はある程度絞られることがわかります

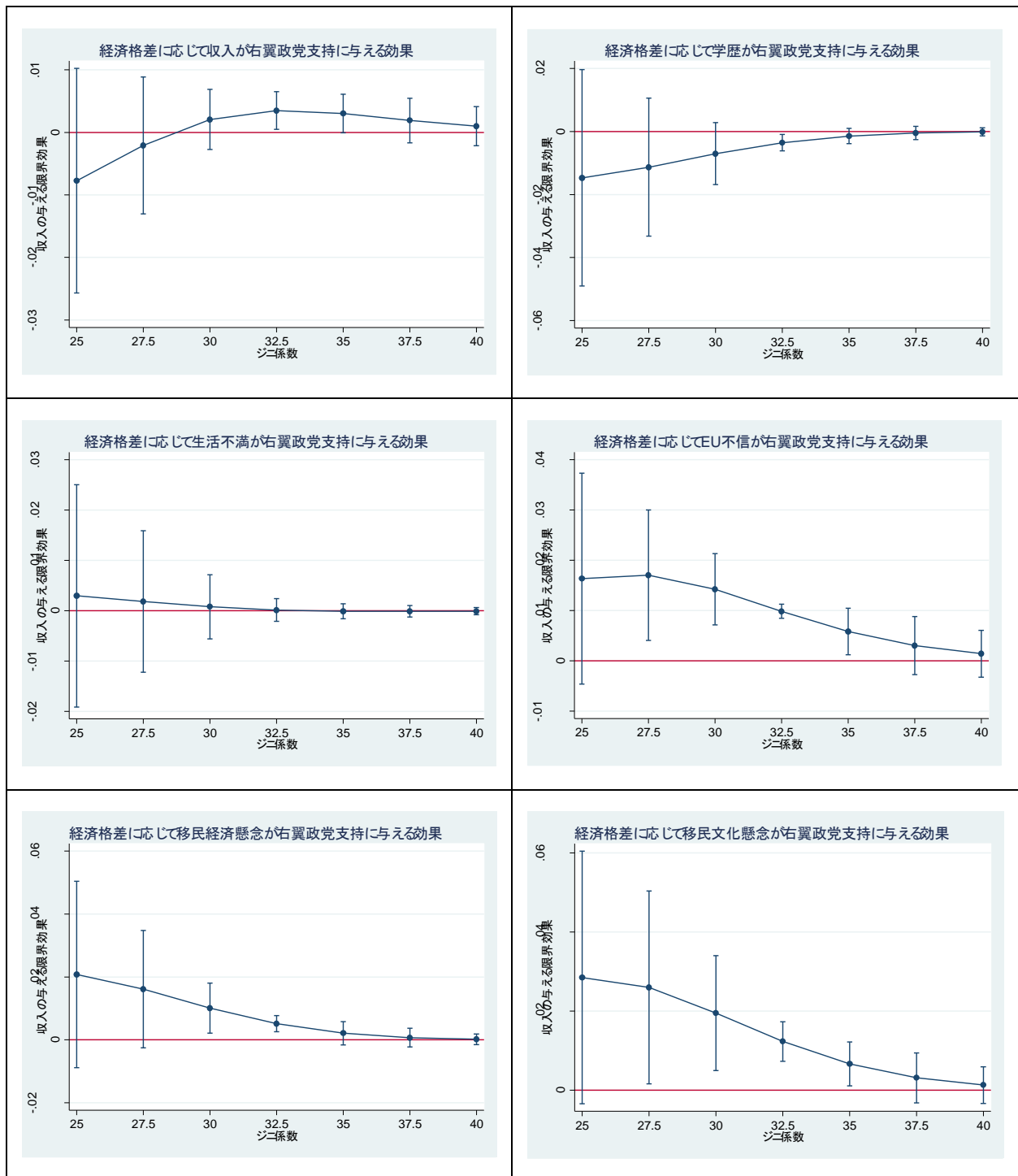
2.2 ・移民文化懸念(本書 p98 のモデル 2 をベースとして交互作用項を投入し限界効果を計測)



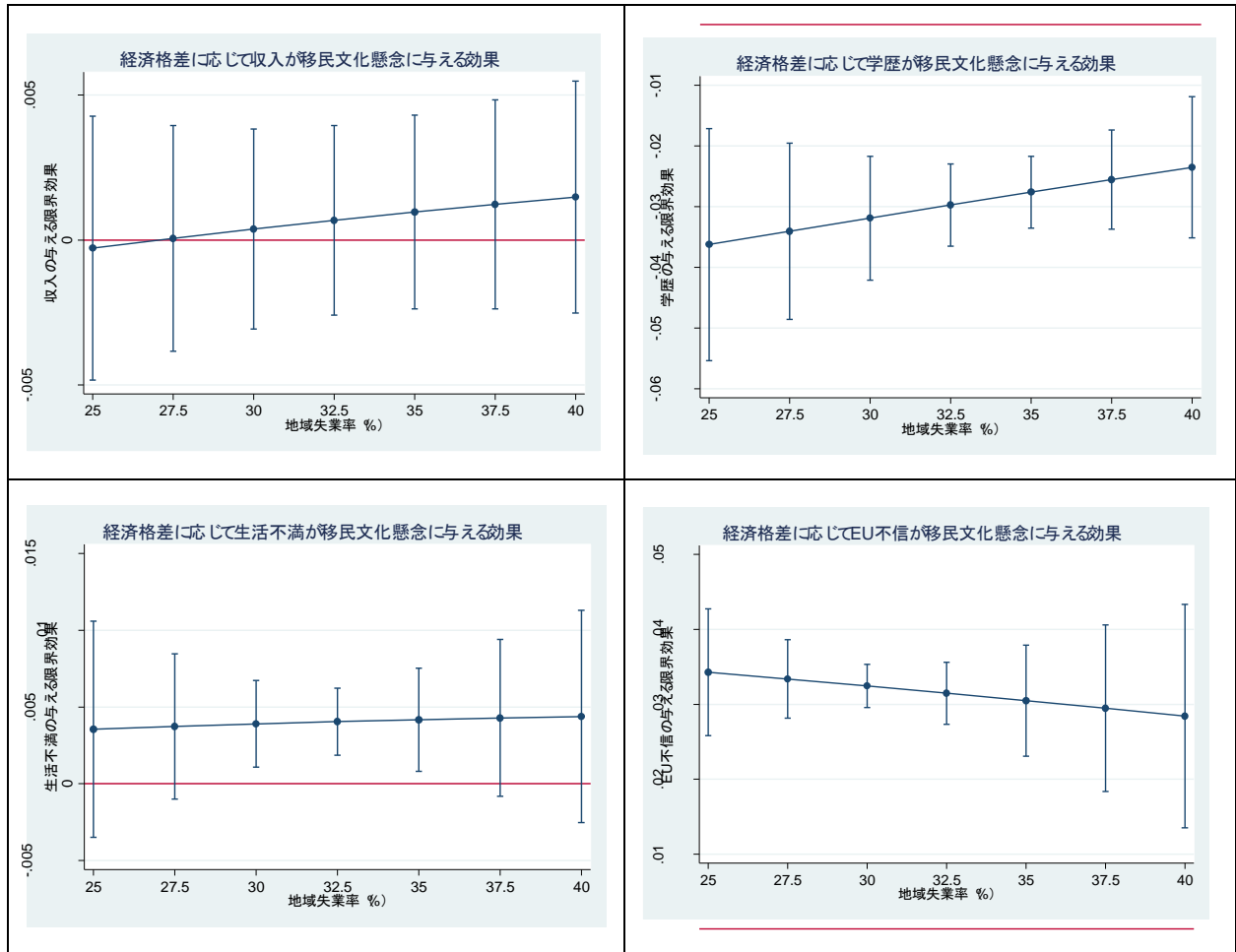
- ・学歴の負の効果や EU 不信の正の効果は地域失業率の高低にあまり影響されず安定しています
- ・生活不満が移民文化懸念を高める効果は、地域失業率が高い所ほど強まる傾向があります

3. 国レベル経済格差との交互作用効果(世銀 2016/18 年 Gini 係数を利用)

3. 1 ・右翼政党支持(本書 p72 のモデル 2 をベースとして交互作用項を投入し限界効果を計測)



3. 2 ・移民文化懸念(本書 p98 のモデル 2 をベースとして交互作用項を投入し限界効果を計測)



全体として、経済格差の高いカントリーイヤーと個票レベル独立変数の相互作用には、特筆すべき効果はないといえそうです。